

令和2年度

第3回市町村議会議員特別セミナー

日々めまぐるしく変わりゆく国内外の情勢の中で、地方議員の方には、様々な行政課題について学び、施策を提案していくことが求められています。

今回のセミナーでは、「福祉」というテーマのもと、各分野でご活躍の先生方から講演をいただき、今後のわがまちの未来と地方議員に求められる役割について多角的に考えていただきます。

多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

開催要領

日 程

令和3年1月25日(月)～1月26日(火)(2日間)

場 所

全国市町村国際文化研修所

JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対 象

市区町村議会議員

2日間全日程をご受講いただける方を対象とします。

募集人数

来所による受講

150人

募集人数を大幅に上回るお申し込みをいただいた場合は、**先着順**とさせていただきます。そのため、申込期限前に締め切らせていただく場合があります。その場合は、JAMホームページのトップページ「受講者募集中の研修」でお知らせいたしますので、適宜ご確認ください。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

オンラインによる受講

30人

オンラインについては、ビデオ会議システムZoomを使用します。機材やインターネット接続のための環境が必要です。詳しくはZoom公式サイトをご参照ください。

募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に**抽選**等をさせていただきますので、予めご了承ください。なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。部分的な受講はできませんのでご注意ください。

宿 泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修)(来所受講のみ)

※外泊はできません。

経 費

来所受講:

6,900円

左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食1回、昼食1回、夕食1回)、資料等にかかる費用です。
なお、事前準備・事前学習および最終日の昼食にかかる費用は含まれておりません。

オンライン受講:

無料(試行のため)

オンライン受講は試行実施のため無料とさせていただきます。オンライン受講される方には、通常の研修に関するアンケートに加え、オンライン研修に関するアンケートにもお答えいただきます。

申込期限

令和2年12月11日(金)まで

※新型コロナウイルス感染症の影響により、申込期限内での申込みが難しい等がございましたら、ご遠慮なくご相談ください。

申込方法

◎**議会事務局を通じて、JAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」**からお申し込みください。

◎来所による受講とオンラインによる受講を選択できますので、**どちらか一つのみ**お申し込みください。

「Web申込み」が難しい場合は、受講申込書により**議会事務局を通じてFAX**でお申し込みください。

※受講申込書は、議会事務局に送付しております。**来所による受講かオンライン受講かを必ず明記**してください。またJAMホームページの書類様式集(<https://www.jiam.jp/doc/>)にも本セミナー専用の様式を掲載しております。

受講決定

受講の可否については、通常、開講日の約1か月前までに通知をお送りしておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、2～3週間前までの送付とさせていただきますので、ご了承ください。

経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団 **全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部**

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL.077-578-5932 FAX.077-578-5906

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

令和3年

1月

25日(月)

11:00~
入寮受付・昼食

13:00~
開講式・日程説明

13:15~14:45
社会保障再考—〈地域〉で支える—

早稲田大学法学学術院 教授 菊池 馨実 氏

15:05~16:35
共生社会を創る

津田塾大学総合政策学部 客員教授 村木 厚子 氏

17:30~
交流会 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

令和3年

1月

26日(火)

9:00~10:30
データ活用した健康・福祉のまちづくり

千葉大学予防医学センター社会予防医学研究部門 教授 近藤 克則 氏

10:50~12:20
地域共生社会における障害福祉の現状と課題

植草学園大学 副学長・教授 野澤 和弘 氏

12:20~12:30
閉講・事務連絡

講師紹介

早稲田大学法学学術院 教授 菊池 馨実(きくち よしみ)氏

1962年北海道生まれ。北海道大学法学部卒業。1993年北大大学院法学研究科博士課程修了(博士〔法学〕)。著書に『社会保障の法理念』、『社会保障法制の将来構想』『社会保障法(第2版)』(以上、有斐閣)、『社会保障再考—〈地域〉で支える』(岩波新書)など。大阪大学助教授、早稲田大学法学部助教授を経て、2002年より同教授。社会保障審議会委員、全国健康保険協会船員保険協議会座長、日本年金機構運営評議会座長などを務める。社会保障法が専門。

津田塾大学総合政策学部 客員教授 村木 厚子(むらき あつこ)氏

1955年高知県生まれ。高知大学文理学部卒業。1978年労働省(現厚生労働省)入省。女性政策、障がい者政策、働き方改革や子ども政策などに携わる。2013年から15年まで厚生労働事務次官を務め退官後、現在に至る。現在は、累犯障がい者を支援する「共生社会を創る愛の基金」の顧問や、生きづらさを抱える少女・若年女性を支援する「若草プロジェクト」の代表呼びかけ人として、NPO活動に携わるとともに、住宅確保に困難を抱える者のための居住支援や農福連携の普及に携わっている。

千葉大学予防医学センター社会予防医学研究部門 教授 近藤 克則(こんどう かつのり)氏

1958年愛知県生まれ。千葉大学医学部卒業。東京大学医学部付属病院リハビリテーション部医員、船橋二和病院リハビリテーション科科長などを経て、1997年日本福祉大学助教授。University of Kent at Canterbury(イギリス)客員研究員(2000-2001)、日本福祉大学教授を経て、2014年から現職。2016年から国立長寿医療研究センター老年学・社会科学研究センターの老年学評価研究部長、2018年一般社団法人日本老年学的評価研究機構の代表理事を併任。「健康格差縮小を目指した社会疫学研究」で2020年度「日本医師会医学賞」受賞。

植草学園大学 副学長・教授 野澤 和弘(のざわ かずひろ)氏

1959年静岡県生まれ。早稲田大学法学部卒業。毎日新聞社入社後、いじめ、ひきこもり、児童虐待、障害者虐待などの報道に取り組む。2007年から夕刊編集部部長、2009年から論説委員(社会保障担当)。元千葉県障害者差別をなくす研究会座長、社会保障審議会障害者部会委員、内閣府障害者制度改革推進会議差別禁止部会委員、厚労省今後の精神保健のあり方検討会委員などを務める。2019年、毎日新聞社退社。2016年に一般社団法人スローコミュニケーションを立ち上げ、知的障害者向けの情報提供に関する調査研究等に取り組む。

● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひ登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。